

1. 学部

1.1. 平成 17 年度の取り組みの概要

「2004年度発達科学部年次報告書」の冒頭の「『第2バージョン発達科学部』に向けての取り組み」に記載しているように昨年度は法人化を迎えて、「第2バージョン発達科学部」の基盤を形成するために教育システム、入試制度、管理・運営システム、施設整備など多方面の分野で改革を実行した年であった。

本年度は、この改革を引き続いて具体化し、定着させていくことが課題であった。この具体化の状況については各項目で具体的に述べることとして、ここでは特に重要な項目について列挙しておくこととする。

4 学科体制のスタート。

「人間の発達と人間の行動を考える・人間行動学科発 健康づくり・身体づくり・生きがいづくり・〇〇づくり」をテーマにしたシンポジウムを、第14回発達科学シンポジウムとして開催（2月）

人間行動学科のAO入試に続く、人間環境学科のポスターセッションによるAO入試実施。これに伴い約80校の高校訪問。シンポジウム「理系AO入試を通じた高校と大学の接続・21世紀における科学者養成の新展開を目指して」を開催（3月）。

8月、2日間のオープンキャンパス実施、1,500名参加。

キャリアサポートセンター開設。各種セミナーを29回開催。

ヒューマン・コミュニティ創成研究センターの正式な開設（4月）、開設記念シンポジウムに500人参加（5月）。6常設部門の他に、「市民の科学と大学支援」プロジェクトスタート、サイエンス・カフェ12回開催。

灘区役所跡地に、ヒューマン・コミュニティ創成研究センターのサテライト施設として「のびやかスペースあーち」開設（9月）。オープンセレモニーに500人参加。

平成18年度からの新しい形態での教育実習の検討具体化。

教員の社会貢献レポートをWebに掲載し、それをまとめて「社会貢献レポート第1集」を刊行。

セクシュアル・ハラスメント防止のためのポスター募集、入選作をポスターに。

（発達科学部長 和田 進）